

全国首長九条の会ニュース

2022年10月25日 第42号 ホームページ：<https://kubicho9jo.com/>

●連絡先：〒101-0065 東京都千代田区西神田2-5-7 神田中央ビル 303 九条の会気付 ☎03-3221-5075
fax03-3221-5076 メール：sppn3av9@hyper.ocn.ne.jp 口座番号 00190-4-635731 (全国首長九条の会)

今号は、「第3回総会と市民のつどい」の概要と、新たに呼びかけ人になっていただいた、前沖縄県北中城村長で衆議院議員の新垣邦男さんの投稿です。

去る9月17日元岡山県金光町長の片山均さんが85歳で、9月28日には、共同代表で元滋賀県知事の武村正義さんが88歳で亡くなられました。武村さんは、滋賀首長九条の会の設立の呼びかけ人で共同代表もされていました。お二人のご冥福を心よりお祈り致します。

一方新しく、6月の杉並区長選挙で当選された、岸本聰子区長が呼びかけ人として参加してくださり、会員は126人となっています。

全国首長九条の会 「第3回総会と市民のつどい」

- 日 時： 2022年11月12日(土) 午後1時半から4時半
- 会 場： 文京区民センター 2-A会議室 (地下鉄丸の内線後楽園下車：地図下記)
- 費 用： 資料代として1000円 (リアル、ZOOM参加者ともに)
- 内 容：
 - 第一部「憲法・地方自治・そして草の根の共闘」をテーマにディスカッション
 - 総会(方針提案、役員選出などと会員の交流)

第一部では、自民党、維新の会などが「統一教会」と一体で進める、9条改憲、憲法24条攻撃、地方自治否定の動きにどう対抗するか、杉並区長選挙の経験などから来年のいっせい地方選挙を見据えて、共同代表の松下玲子武蔵野市長、呼びかけ人の岸本聰子杉並区長の発言を受けて、会員と市民が共に語り合います。



松下市長(左)には、「岸田政権の9条改憲を許さないための私たちの役割と、命や暮らしをまもるため、自治体からどう対抗していくかについて」を、岸本区長(右)には、「区長選挙の経験と区長としての決意、9条への思い、そして市民自治実現に向けての今後の取り組みについて」をお話していただきます。



保坂展人・世田谷区長には、総会で、「国葬強行や改憲発議発言など岸田政権の問題点と命や暮らしをまもる自治体からの発信、地方政治からみた国政転換の必要性について」発言をいただきます。

◆会場は、150人収容可能です。市民の方の参加は100人を予定しています。リアルでも、ZOOMでも結構です。
ぜひ全国からご参加ください。



【ZOOMでの参加を希望される方は、以下のようにお願ひします】

1. 「九条の会」事務局に、ZOOM参加の旨と下記事項をご連絡ください。メール: sppn3av9@hyper.ocn.ne.jp)
①名前（自治体名か団体名も）、②電話番号（携帯があれば携帯番号）③メールアドレス
2. その後、資料代1000円をお振り込みください。
口座番号は、郵便振替口座 00190-4-635731 全国首長九条の会 です
3. 入金を確認したら、ZOOM参加のためのURL、パスワード、緊急連絡先などを指定されたメールアドレスにお送りします。

◆当日、ごあいさつされる「九条の会」事務局長の小森陽一さんのメッセージです。

岸田文雄政権の大軍拡を阻止する運動を



国会で論戦が始まる中、岸田文雄政権のきわめて危険な軍事政策が、日々明らかになっています。今国会で明らかになりつつある岸田軍拡は、今年度の当初予算における防衛費を6兆5千億円にしようとしています。

この間連続した北朝鮮のミサイル発射、そして中国の軍拡を口実にしながら、岸田政権は大軍拡予算を国会に提出しようとしています。

その中心は「スタンド・オフ防衛能力」の強化です。それは、長距離誘導ミサイルで、日本に攻撃をしようとしている敵基地を事前に攻撃するというものです。まさに敵基地先制攻撃にほかなりません。こうした岸田政権の危険な軍事施策を許さない国民運動を、一気に強め、九条を生かす政治の実現を目指しましょう。

「九条の会」事務局長・東京大学名誉教授 小森 陽一

憲法9条は絶対に変えてはいけない



前沖縄県北中城村長
衆議院議員 新垣 邦男

私は、人口17000人の沖縄県北中城村の職員で、労働組合運動をずっとやっていました。48歳、係長の時に村長選挙があり、隣村との合併の是非をめぐって、現職が合併推進となつたことから、当組合の委員長だった私が対抗馬として担ぎ出され当選しました。3期目の時には軍用跡地48haの開発を5年で実現し、病院、ショッピングセンター、住宅地などを整備することができ、4期連続当選し16年務めました。

その後、今年4月に亡くなられた照屋寛徳先生から、後継者に指名され断り切れず、昨年の総選挙に沖縄2区から社民党のオール沖縄候補として立候補し当選することが出来ました。沖縄2区は、嘉手納や普天間に米軍基地を抱え常に大きな問題になっているところで、小選挙区で勝つことに意味がありました。

衆議院では、安全保障委員会、沖縄北方領土特別委員会と、憲法調査会の委員をしていますが、驚いたのは憲法審査会です。あの雰囲気はなんなのでしょう。沖縄では憲法改正の話は全くないので、憲法を変えろという話しばかりで信じられませんでし

た。旧統一教会との関係もあり、安倍さんは改憲と戦争する国づくりにまい進し、その雰囲気に押されて維新の会も国民民主党もそのようになったのではないかと思いました。

若い国会議員は、「自分の国は自分で守る」などと主張しています。台湾有事では、沖縄を犠牲にして本土には戦争はこないと思っているのでしょうか。戦争のイメージが出来ないのでしょうか。沖縄では戦争について子どものころから聞かされ、いまも基地があり毎日戦争と隣り合わせで、基地があるがゆえの被害があり毎日戦闘機やオスプレイが自由に飛び、爆音や落下物、いつ墜落するかもしれない恐怖と危険にさらされています。

この感覚の違いは大きいです。

ですから憲法9条は絶対に変えてはいけません。9条があることで世界から日本は戦争をしない国として認知されています。だからそれを堅持すべきです。唯一の被爆国として、戦争はしないということを打ち出して憲法を生かした外交をきちんとすべきです。

政治家は、いま一度歴史を振り返って、検証しながら未来を語らないとダメだと思います。こうした時こそ政治家は冷静になるべきです。

母は今年105歳です。その母が、「戦前も戦争に反対した人がいたが、その声が消されていって戦争になった。反対の声は発しなければいけない」と言い続けています。この言葉を忘れないで戦争に反対し、9条を守りたいと思います。全国首長九条の会のみなさん、共に9条を守り、生かしましょう。